

「荒城の月」 定期テスト対策練習問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 「荒城の月」の作詞者を漢字で答えなさい。

問2 「荒城の月」の作曲者を漢字で答えなさい。

問3 「荒城の月」の一般的に親しまれている曲はある作曲者によって補作編曲されたものだが、その作曲者を漢字で答えなさい。

問4 「荒城の月」の拍子は、何分の何拍子が答えなさい。

問5 「荒城の月」は何調の曲か答えなさい。

問6 「荒城の月」の曲の形式を答えなさい。

問7 「荒城の月」の詩の形式を答えなさい。

問8 「荒城の月」の速度記号をアルファベット表記で答え、読み方と、その意味を答えなさい。

【速度記号】

【読み方】

【意味】



問9 「荒城の月」の歌詞に使われている次の言葉の読み方と意味を、それぞれ答えなさい。（ひらがなだけのものは読み方は答えなくて良い）

ア：高楼
ウ：めぐる
オ：陣営
キ：たがためぞ
ケ：天上影

イ：花の宴
エ：千代の松が枝
カ：照りそいし
ク：かずら
コ：栄枯

ア【読み方】

【意味】

イ【読み方】

【意味】

ウ【意味】

エ【読み方】

【意味】

オ【読み方】

【意味】

カ【読み方】

【意味】

キ【意味】

ク【意味】

ケ【読み方】

【意味】

コ【読み方】

【意味】



問 10 「荒城の月」について説明している次の文のうち、正しいものをすべて選び
○で囲みなさい。

ア：「荒城の月」の詩のイメージのもととなったのは、仙台の青葉城と、福島の
鶴ヶ城である。

イ：「荒城の月」の作曲者の代表作には、「花」や「赤とんぼ」などがある。

ウ：補作編曲された「荒城の月」には、原曲と比べて半音高いI音がある。

エ：「荒城の月」の作曲者は、ドイツへ留学したが、帰国後病気で亡くなった

問 11 下は、「荒城の月」の歌詞の一部である。（ア）～（ス）に入る歌詞を
それぞれ答えなさい。

- | |
|---|
| 1 春高樓の 花の宴 めぐる（ア）（イ）さして
千代の松が枝（ウ）出でし 昔の（エ）今いずこ |
| 2 秋陣營の（オ）の色 鳴き行く（カ）の数見せて
植うる（キ）に 照りそいし 昔の（エ）今いずこ |
| 3 今荒城の（ク）の月 変わらぬ光（ケ）ためぞ
垣に残るは ただ（コ）松に歌うは ただ（サ） |
| 4 天上影は変わらねど（シ）は移る 世の（ス）
写さんとてか 今もなお ああ荒城の（ク）の月 |

【ア】

【イ】

【ウ】

【エ】

【オ】

【カ】

【キ】

【ク】

【ケ】

【コ】

【サ】

【シ】

【ス】



問 1 2 「荒城の月」は口短調の曲であるが、口短調ではどの音に必ず井がつくか。
和音名（ハ・ニ・ホ・・・など）で答えなさい。



「荒城の月」 定期テスト対策練習問題（解答）

問1 土井晩翠

問2 滝廉太郎

問3 山田耕作

問4 4分の4拍子

問5 口短調

問6 二部形式

【解説】「荒城の月」は、A-A-B-AのようにAとBの2つの形式の楽節からできている。

問7 七五調

【解説】「はるこうろうの（7音）はなのえん（5音）」のように、7音と5音のくりかえしになっている。

問8 【速度記号】Andante

【読み方】アンダンテ

【意味】ゆっくり歩くような速さで



問9	ア【読み方】こうろう	【意味】高く造られた建物
	イ【読み方】はなのえん	【意味】花見の宴
	ウ【意味】手から手へと渡る	
	エ【読み方】ちよのまつがえ	【意味】古い松の枝
	オ【読み方】じんえい	【意味】兵士が陣取っている所
	カ【読み方】てりそいし	【意味】照り映えた
	キ【意味】誰のためなのか	
	ク【意味】つる草	
	ケ【読み方】てんじょうかげ	【意味】空の月の光
	コ【読み方】えいこ	【意味】栄えたり衰えたりすること

問 10 ア・エ

【解説】イについて：荒城の月の作曲者である滝廉太郎の代表作として、「花」は正しいが、「赤とんぼ」は編曲者の山田耕作的代表作。

ウについて：補作編曲された「荒城の月」には、原曲と比べて半音低い「音」があるので、「半音高い」という部分が誤り。

問 1 1

【ア】 盃	【イ】 影
【ウ】 わけ	【エ】 光
【オ】 霜	【カ】 雁
【キ】 つるぎ	【ク】 夜半
【ケ】 たが	【コ】 かずら
【サ】 あらし	【シ】 栄枯
【ス】 姿	

問 1 2 $\wedge \cdot \wedge$

【解説】口短調では、ファとド（へとハ）に必ず#がつく。

